

ソーシャルワイヤー株式会社
2022年3月期 第3四半期決算説明資料

2022年2月4日

連結業績

売上【増加】

- デジタルPR : コロナ禍背景も引き続き伸長
- シェアオフィス : コロナ禍影響でサテライトニーズの戻りが鈍く軟調

利益【底打ち～やや回復】

- デジタルPR : 売上伸長と生産性向上で増益傾向
- シェアオフィス : 昨年度からの統廃合効果で2Qから継続し黒字化維持



連結業績（3Q累計）

売上高	足踏み	3,525百万円	（前年同期比 102.4%）
営業利益	増益	207百万円	（前年同期比 168.3%）
EBITDA*1	回復	527百万円	（前年同期比 103.4%）
四半期純利益*2	黒字化	99百万円	（前年同期 △20百万円）



*1 EBITDA = 営業利益+減価償却費+のれん償却費（EBITDAについては監査レビューを受けておりません）

*2 海外シェアオフィス事業の撤退・縮小による費用計上及び、税効果会計適用による法人税等の一時費用増加

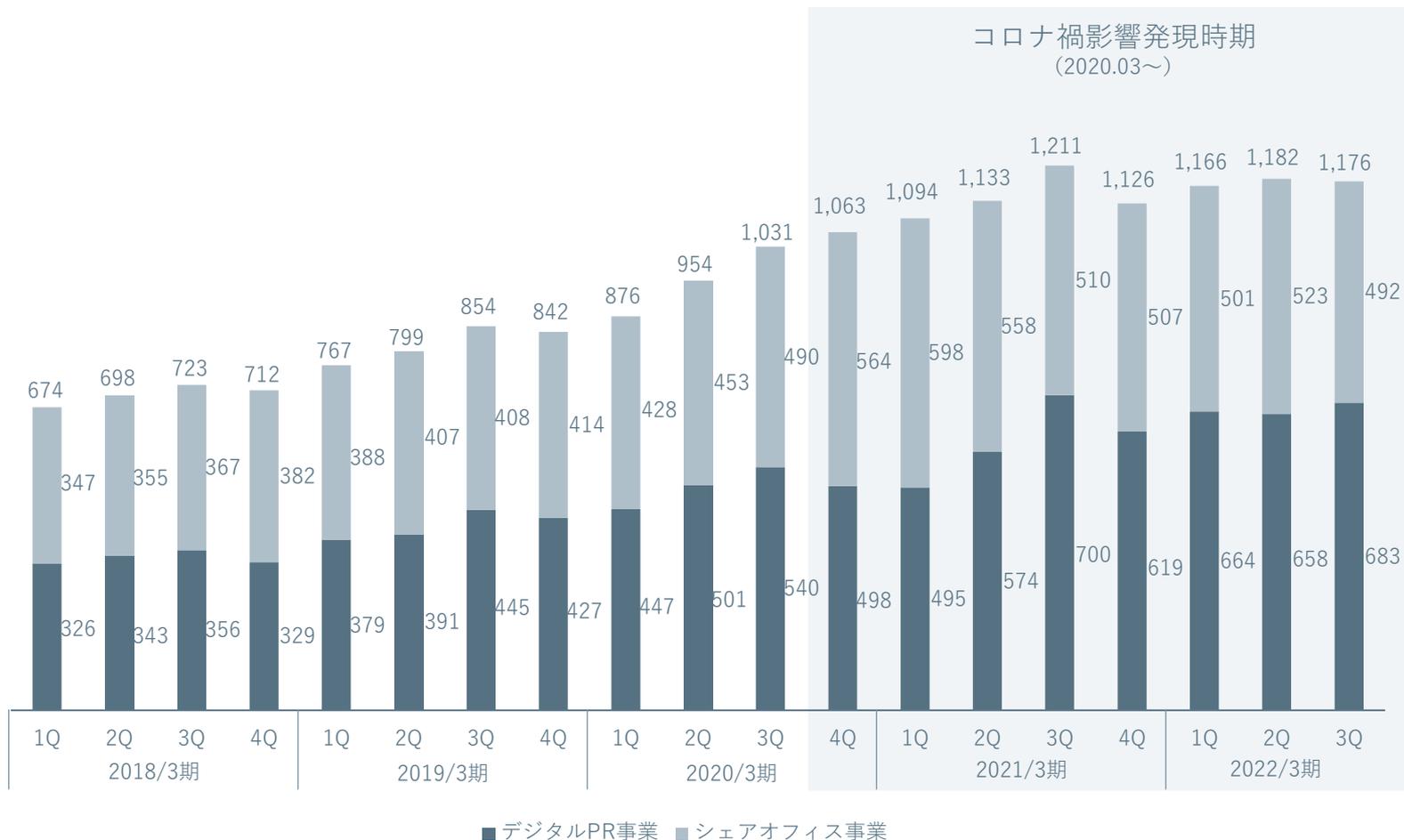
セグメント内訳（3Q累計）

	デジタルPR	シェアオフィス	全社共通費	連結業績
売上高 前年同期比	2,007百万円 113.3%	1,517百万円 90.9%	— —	3,525百万円 102.4%
セグメント利益 前年同期比	485百万円 149.3%	23百万円 20.7%	△300百万円 —	207百万円 168.3%
セグメント利益率	24.1%	1.5%	—	5.8%
EBITDA*	558百万円	257百万円	△288百万円	527百万円

* EBITDA = 営業利益+減価償却費+のれん償却費（EBITDAについては監査レビューを受けておりません）

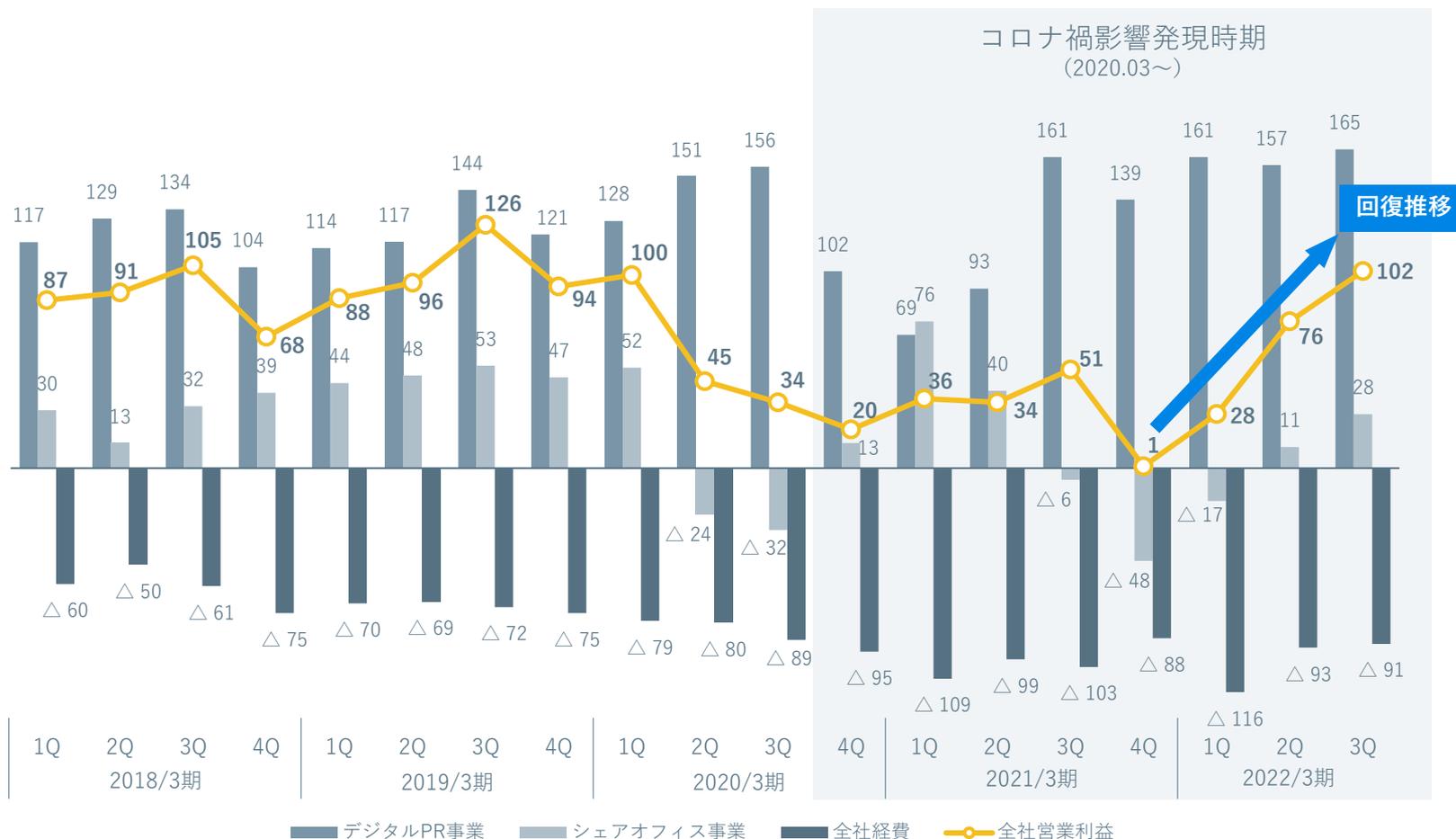
売上高（百万円）

- デジタルPR事業 : 前年度はコロナ禍の反動があり、YoYでは減少。QoQでは季節性により増加
- シェアオフィス事業 : YoY、QoQともに統廃合により減少

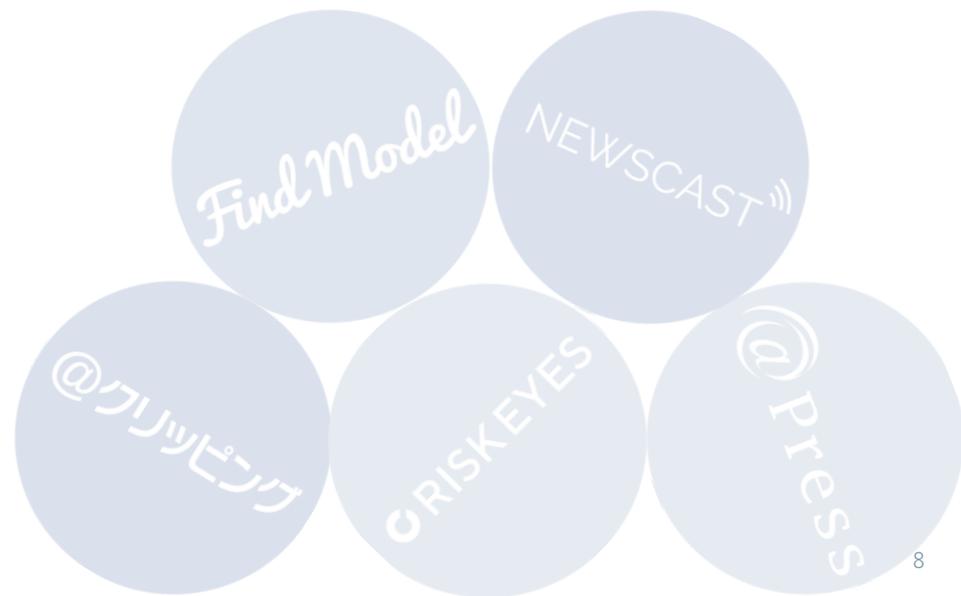


営業利益（百万円）

- デジタルPR事業は堅調に推移
- シェアオフィス事業は黒字化反転及び増益傾向



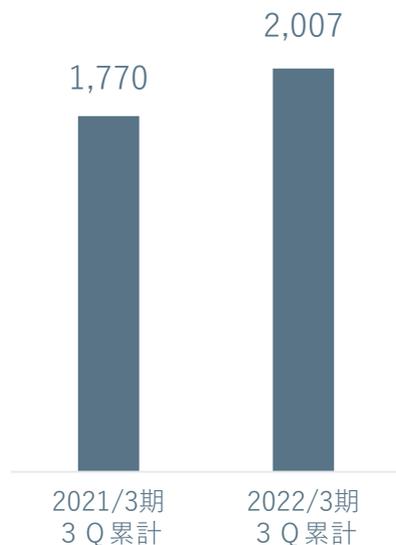
デジタルPR事業



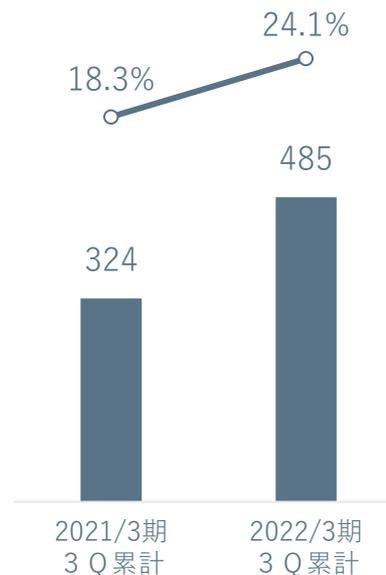
業績（3Q累計）

売上高	2,007百万円（前年同期比 113.3%）
セグメント利益	485百万円（前年同期比 149.3%）
セグメント利益率	24.1%（前年同期比 +5.8ポイント）

売上高

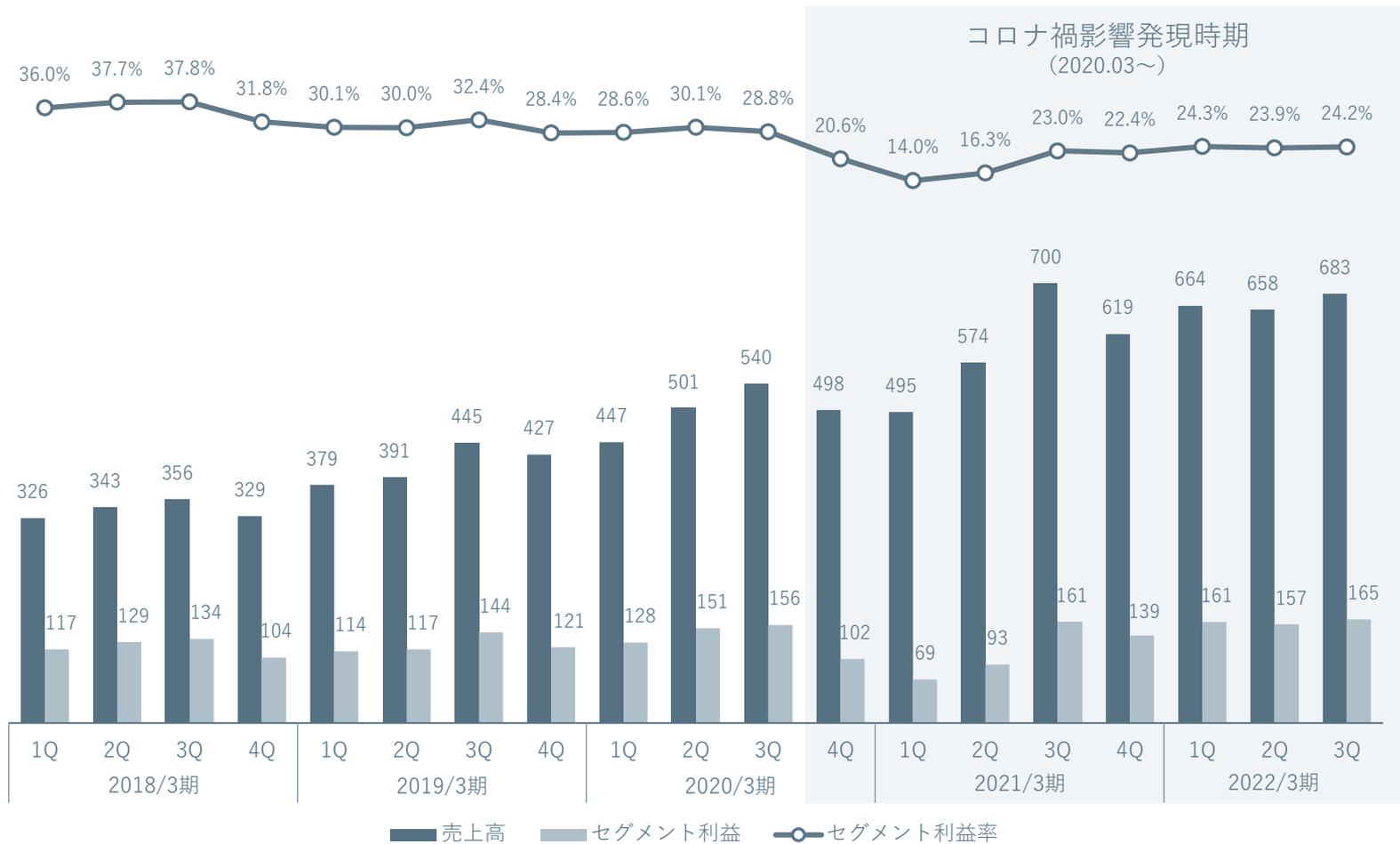


セグメント利益（率）



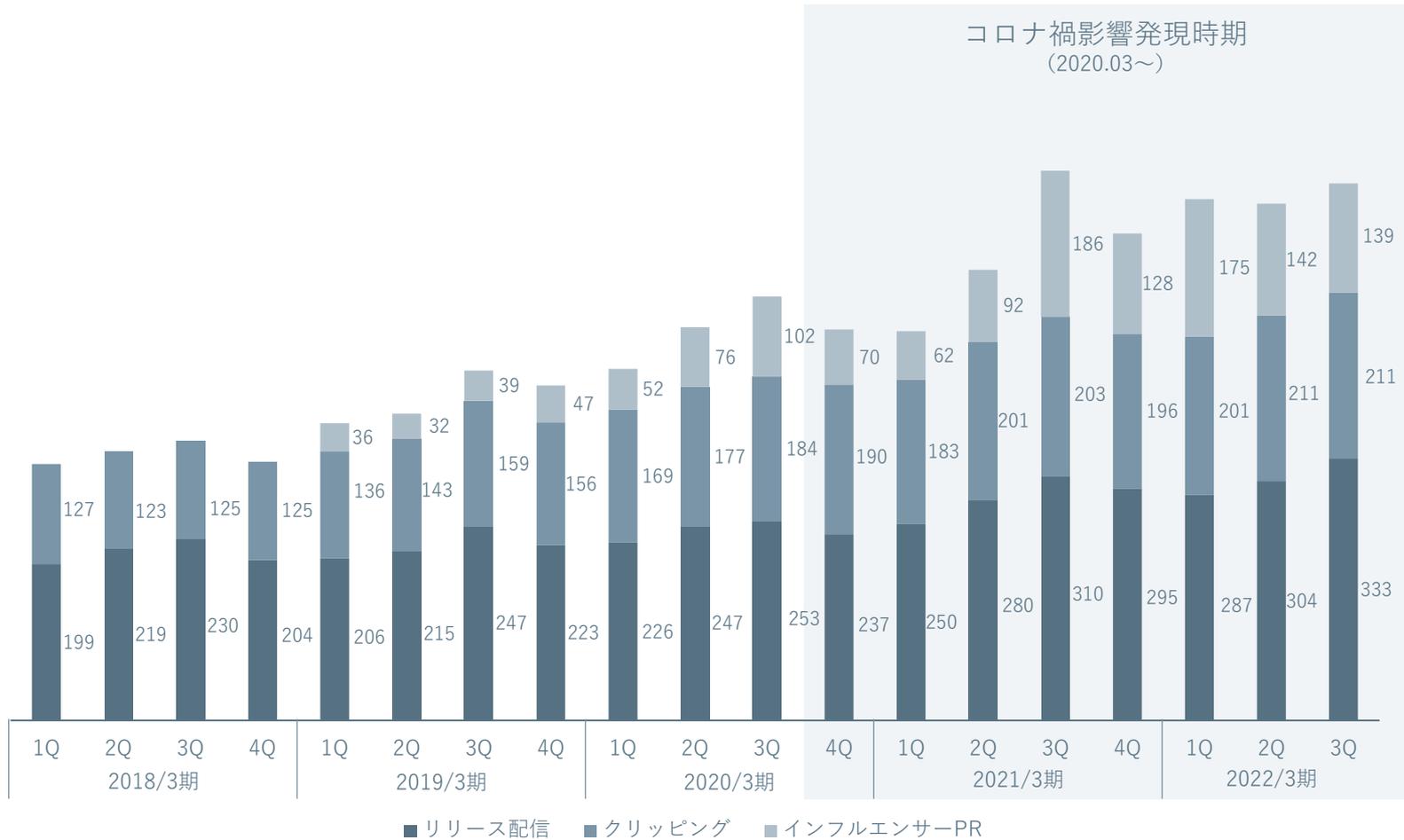
コロナ禍からの回復・生産性改善傾向により、売上高・セグメント利益とも増加

売上高／セグメント利益／セグメント利益率（百万円）



売上高は高水準を維持（ただし、軟調な市場環境により通常期と比較し季節性減少）
セグメント利益は着実に積み上げ

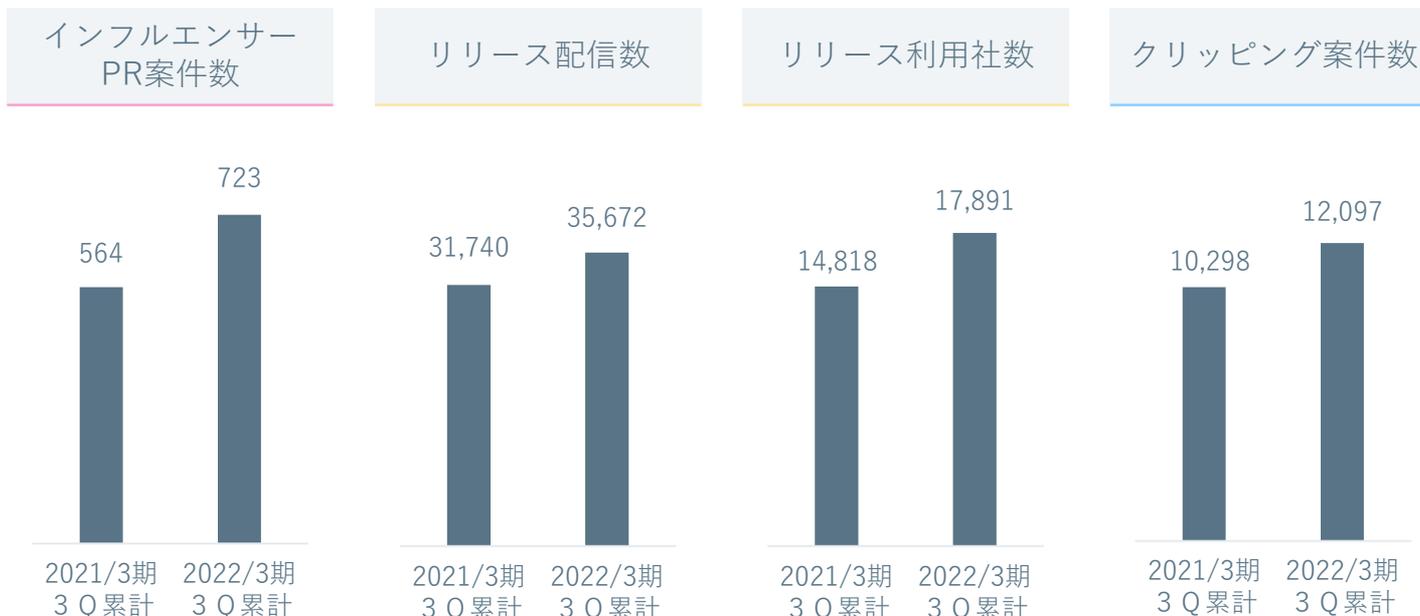
売上高内訳（百万円）



リリース配信サービスは堅調、その他サービスはほぼ横ばい推移

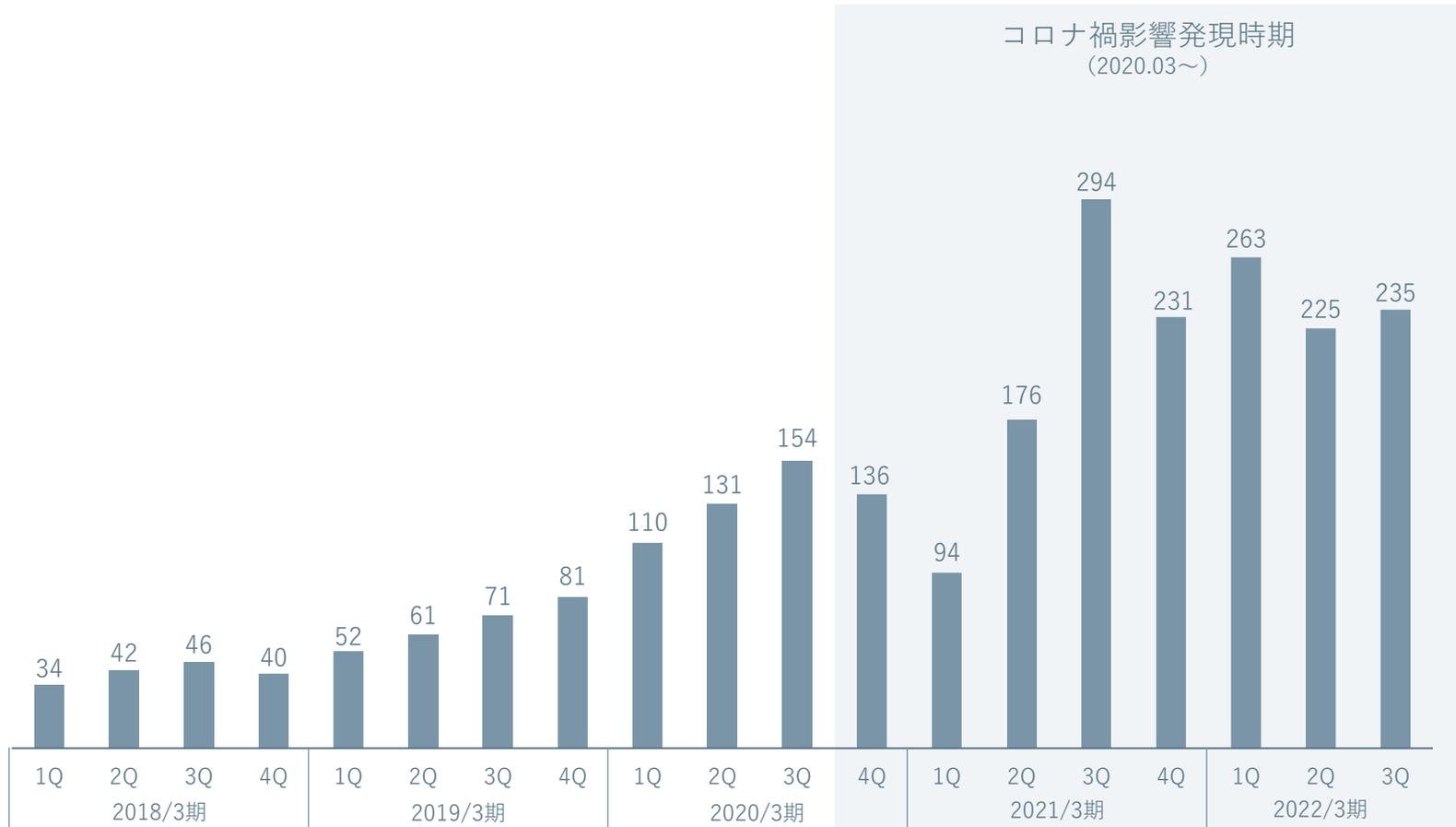
KPI (3Q累計)

インフルエンサーPR案件数	723件 (前年同期比 128.1%)
リリース配信数	35,672件 (前年同期比 112.3%)
リリース利用社数	17,891社 (前年同期比 120.7%)
クリッピング案件数	12,097件 (前年同期比 117.4%)



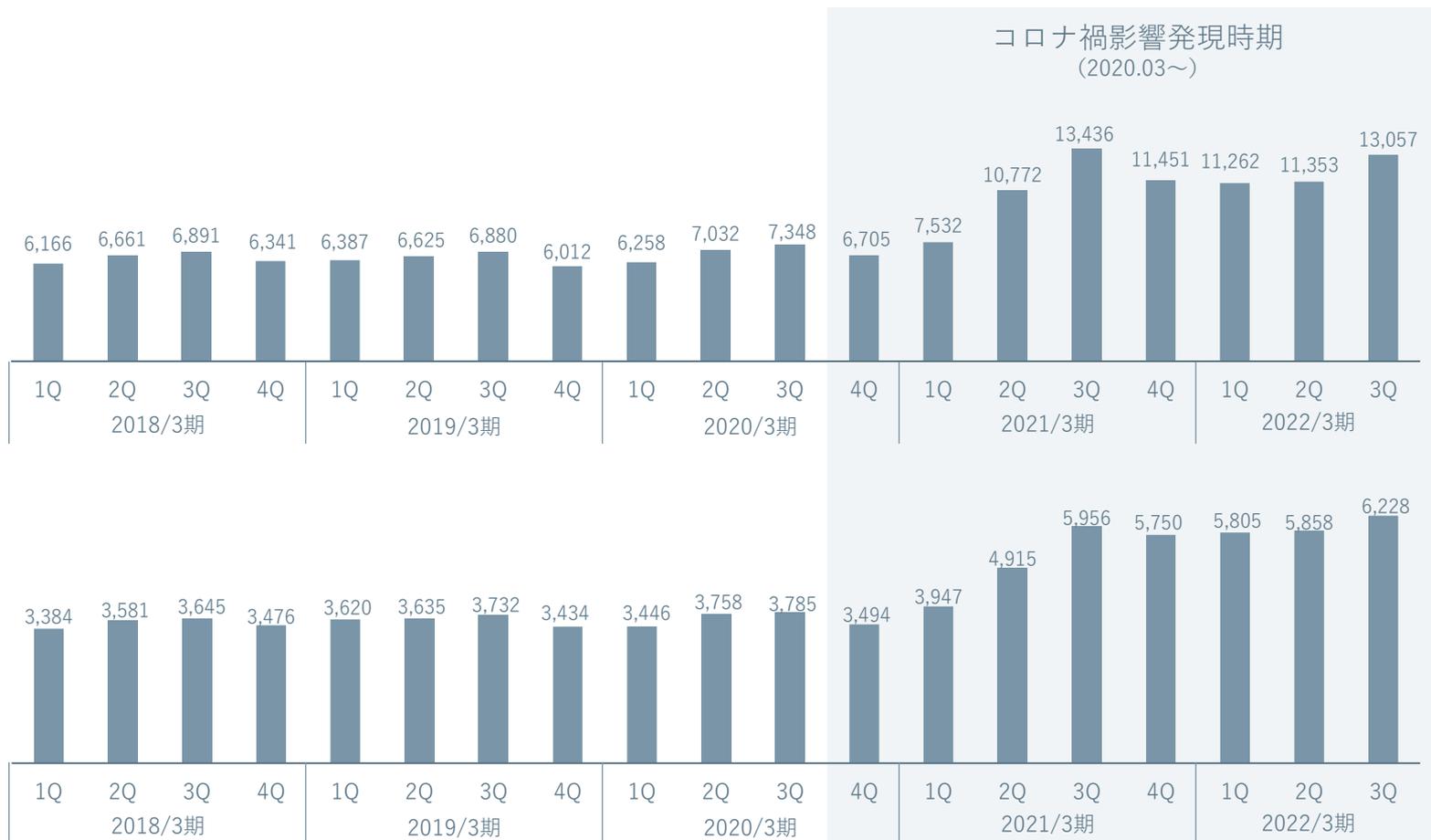
コロナ禍影響の大きかった前年同期と比較すると、3Q累計ではいずれの指標も拡大

インフルエンサーPRサービス（案件数）



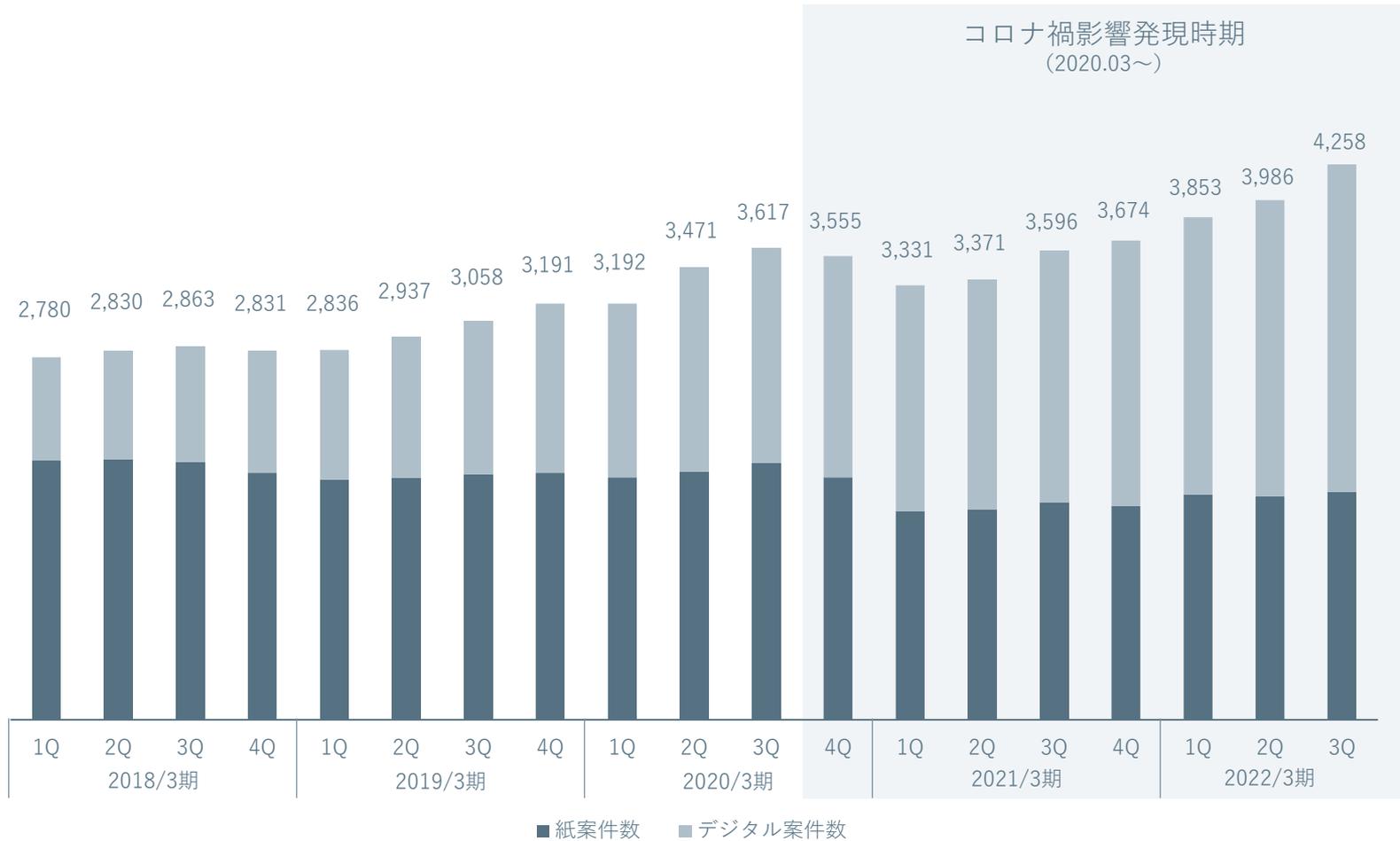
持続されていた行動制限発令により、大手中堅アカウントの様子見相場が影響し、案件数足踏み推移（前年度3Qはコロナ禍反動（GoTo喚起要因）あり案件数極大化）

リリース配信サービス（上段：配信数／下段：利用社数）



昨年度実施の営業力強化に加え、行動制限解除後のスモールアカウント中心の特需と季節性で拡大

クリッピングサービス（案件数）



紙案件数は横ばい推移も、取引先チェックサービスは順調に拡大

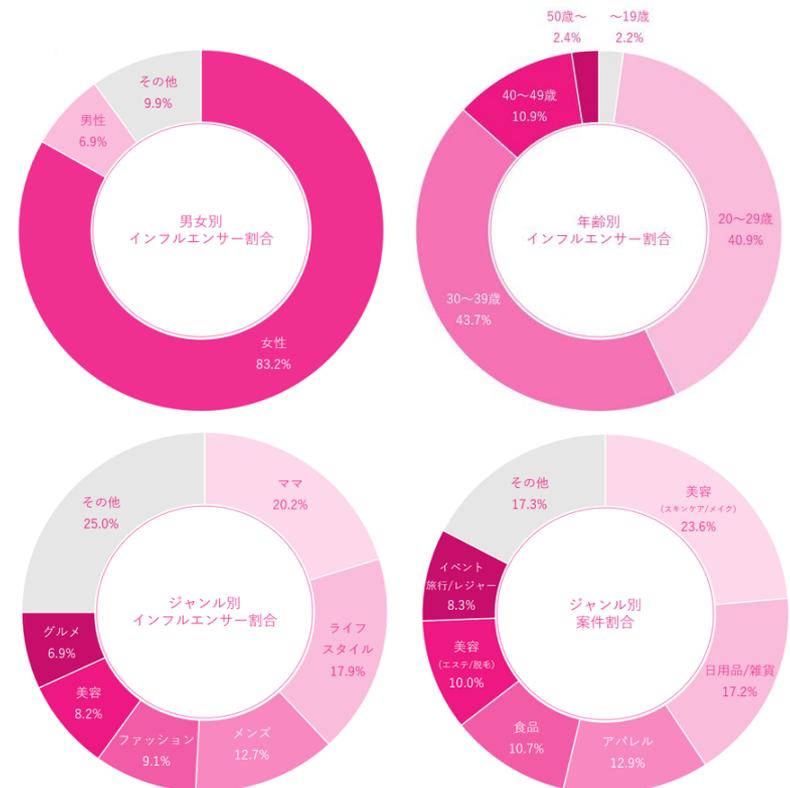
インフルエンサーPRサービス「Find Model」 登録インフルエンサー5,000人&総リーチ数1億5,000万フォロワー突破

- 広告主企業の多岐に渡る様々なPR案件に網羅的に対応していくため、登録インフルエンサー獲得に注力

⇒インフルエンサーの活動領域の拡大と、
企業によるマーケティング活用の更なる
進展を後押しする

今後もインフルエンサーの獲得及び
インフルエンサーPR支援実績の
積み上げを目指す

◆登録インフルエンサー及び実施したPR案件実績



反社チェック専用ツール「RISK EYES（リスクアイズ）」 エン・ジャパン社のリファレンスチェックサービスとのサービス連携開始

- ▶ エン・ジャパン社が提供しているオンライン型のリファレンスチェックサービス『ASHIATO』に対し、当社反社チェック専用ツール「RISK EYES（リスクアイズ）」をAPI連携

⇒ 2つ以上のツールでリファレンスチェックと反社チェックを行っていたユーザー企業に対し、一気通貫でチェック可能に

お客様の顧客管理システム内に反社チェック機能を標準装備することで
煩雑な取引先チェック作業を軽減するツールとしての価値を向上

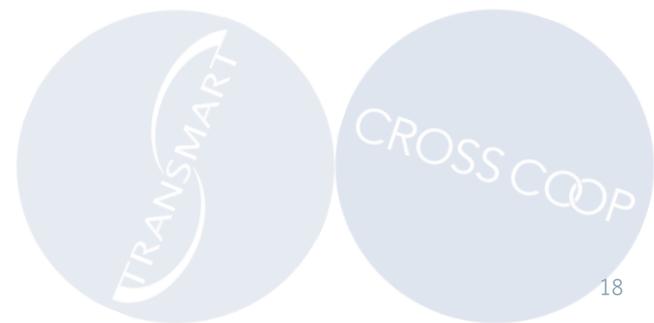
RISK EYESの検索画面を用いた反社チェック方法



API・システム間連携を用いた反社チェック方法（顧客管理システムの場合）

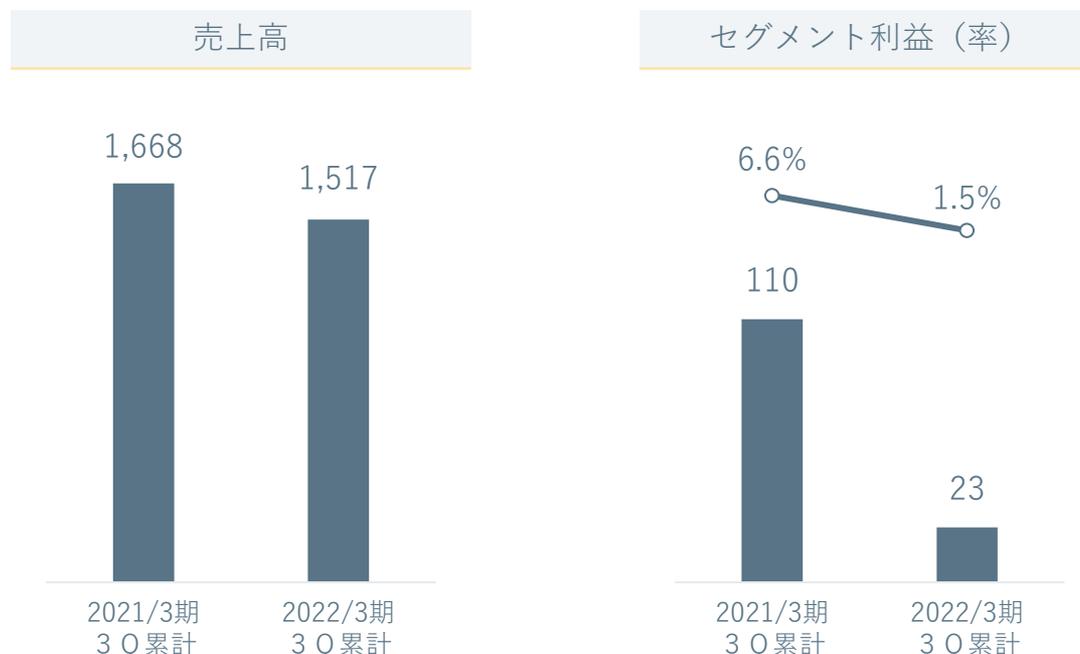


シェアオフィス事業



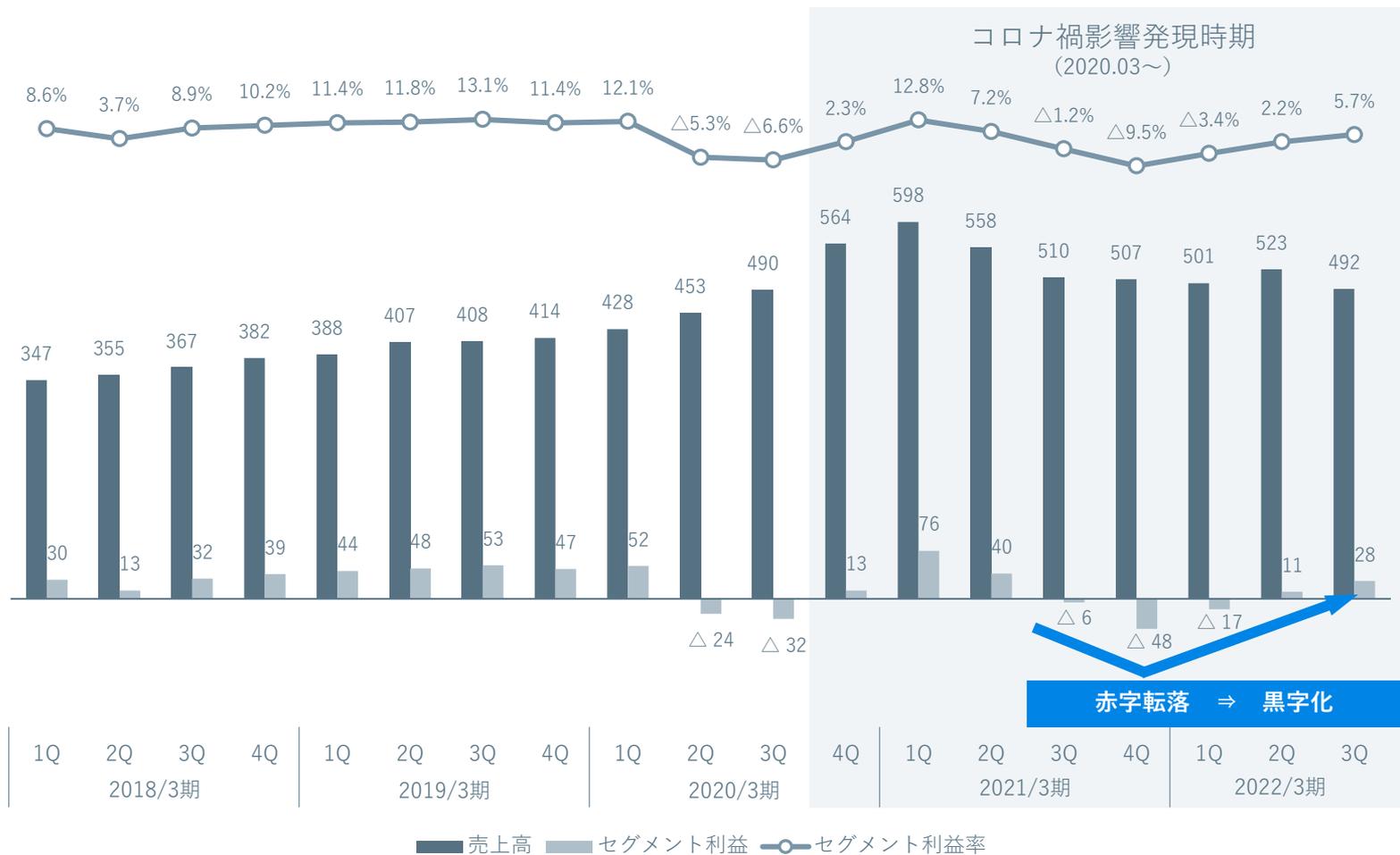
業績（3Q累計）

売上高	1,517百万円（前年同期比 90.9%）
セグメント利益	23百万円（前年同期比 20.7%）
セグメント利益率	1.5%（前年同期比 △5.1ポイント）



昨年度からのコロナ禍影響により売上高・セグメント利益ともに減少
 （利益としては、特に新拠点の開設に伴う費用負担増による減益影響大）

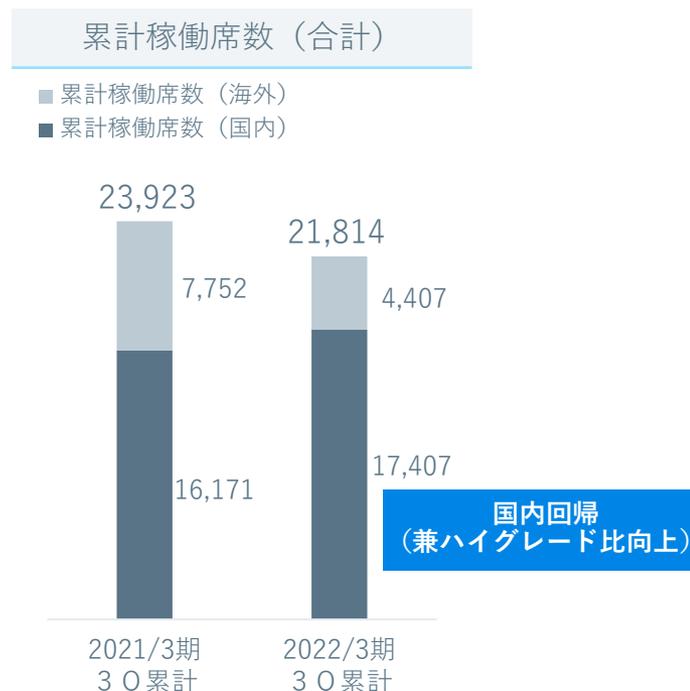
売上高／セグメント利益／セグメント利益率（百万円）



売上高は海外拠点縮小により減少、セグメント利益は統廃合効果もあり2Qから黒字化

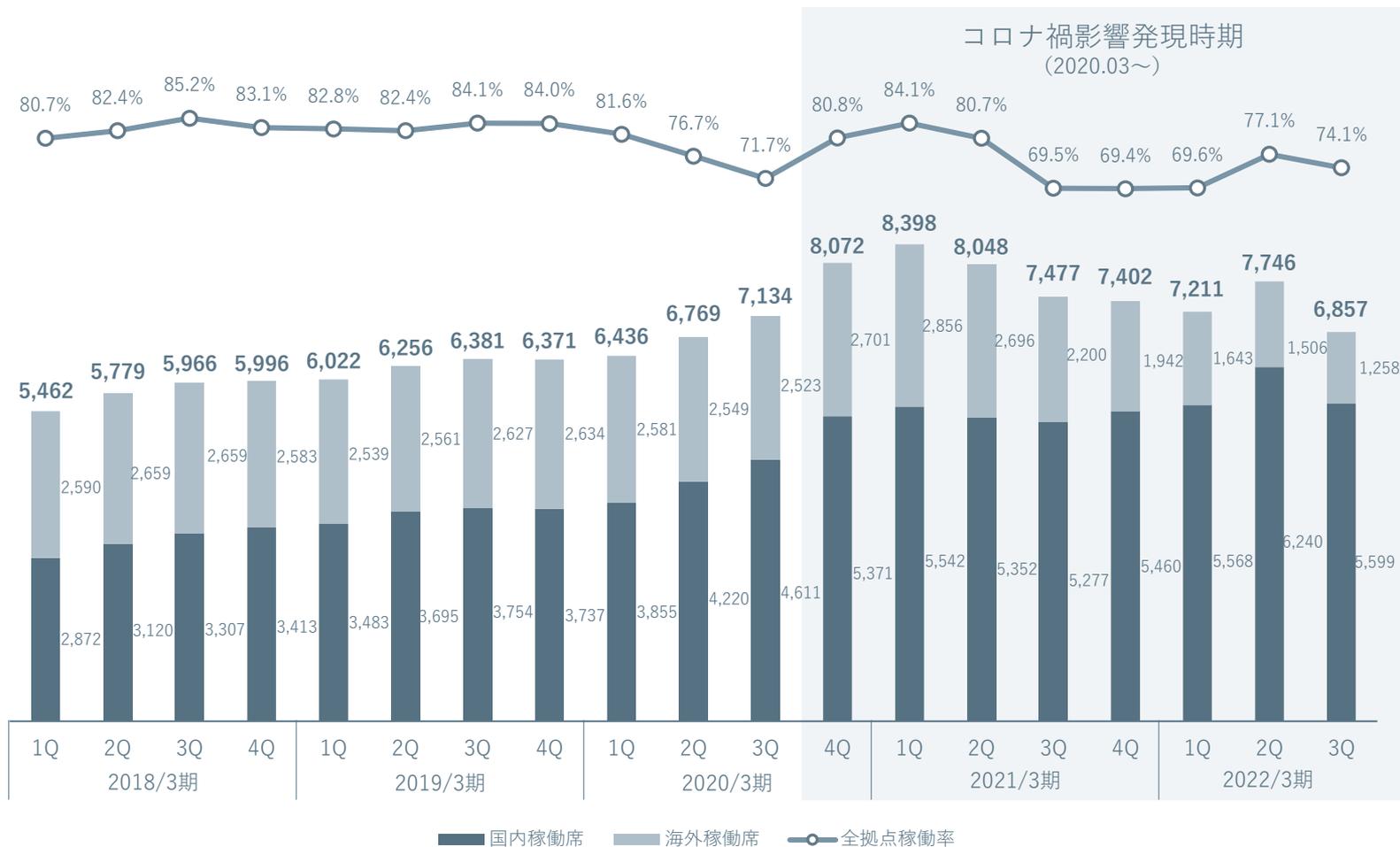
KPI (3Q累計)

累計稼働席数 (国内)	17,407席	(前年同期比 107.6%)
累計稼働席数 (海外)	4,407席	(前年同期比 56.8%)
累計稼働席数 (合計)	21,814席	(前年同期比 91.1%)



国内は新拠点（横浜）開設の効果もあり増加、海外は撤退・縮小が順調に進捗
拠点戦略を国内回帰するとともにビルグレードのハイグレード比を向上推移へ

累計稼働席数／稼働率



国内拠点は2Qに短期利用顧客ありQoQで減少も、増加傾向は維持
稼働率は、海外拠点の統廃合進行により70%半ばをキープ

レンタルオフィス「CROSSCOOP日本橋」 2022年1月に新規オープン

- BCP対応のハイグレードオフィス
- 高品質／徹底した高セキュリティな設備を中心とする高価格帯商品

「CROSSCOOP日本橋」概要

所在地	東京都中央区日本橋3-9-1
アクセス	東京メトロ銀座線・東西線・都営浅草線「日本橋駅」徒歩2分、JR各線「東京駅」徒歩7分
施設規模	約18部屋 席数444席／ 会議室4部屋（約519坪）



- 大手中堅企業の向けサテライトオフィス（ハイグレード）
- テレワーク・リモートワークの「オフィス分散」利用に対応

連結財務諸表

	2021/3期		2022/3期	
	3Q累計 (百万円)	通期 (百万円)	3Q累計 (百万円)	前年同期比
売上高	3,439	4,566	3,525	102.4%
売上総利益	1,588	2,064	1,689	106.4%
EBITDA ^{*1}	510	636	527	103.4%
営業利益 (営業利益率)	123 (3.5%)	125 (2.7%)	207 (5.8%)	168.3% (+2.3ポイント)
経常利益	120	109	185	154.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 ^{*2}	△20	△143	99	—

*1 EBITDA = 営業利益+減価償却費+のれん償却費 (EBITDAについてはレビューを受けておりません)

*2 海外シェアオフィス事業の撤退・縮小による費用計上及び、税効果会計適用による法人税等の一時費用増加

	2021/3期末		2022/3期 3Q末			主たる変動要因
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期末比 (%)	
流動資産	1,577	30.5	1,405	28.1	89.1	・ 現預金、売掛債権が減少
固定資産	3,595	69.5	3,589	71.9	99.8	・ 減価償却進捗により減少
資産合計	5,172	100.0	4,995	100.0	96.5	
流動負債	1,799	34.8	1,844	36.9	102.4	・ CRC新拠点準備により増加
固定負債	2,292	44.3	2,023	40.5	88.2	・ 長期借入金返済により減少
負債合計	4,092	79.1	3,867	77.4	94.5	
株主資本	1,073	20.8	1,110	22.2	103.4	
（自己株式）*	(△45)	(△0.9)	(△83)	(△1.6)	—	
非支配株主持分	10	0.2	10	0.2	100.7	
その他	△3	△0.1	6	0.1	—	
純資産合計	1,080	20.9	1,127	22.6	104.3	
負債・純資産合計	5,172	100.0	4,995	100.0	96.5	

* 自己株式金額は株主資本金額の内数

2022年3月期業績予想・中期戦略策定方針

➤ **【FY21】通期業績・配当予想について**

- オミクロン株の感染急拡大、まん延防止措置の発出等による案件進行の不確実性が上昇（2022年2月現在）

⇒ 非公開方針のままとさせていただきます

➤ **【FY22以降】中期戦略策定方針について**

- FY19発表の中期計画を2020年5月（コロナ禍拡大により中期計画の前提となる社会環境が大きく変動）に取り下げて以降、未発表の状態
- FY22以降は『コロナ禍期』から『withコロナへのシフト期』と捉え、抜本的に見直した中長期ビジョンや経営方針等を策定予定

⇒ 2022年5月を目途に開示予定

BUILDING A BETTER ADVANCE

ビジネスプラットフォームの創造へ

デジタルPRと新しいワークスタイルをご提案

